



# 神奈川県立 小田原高等学校



所在地：小田原市城山3丁目26番1号 〒250-0045  
 電話：0465(23)1201  
 FAX：0465(23)6144  
 URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/odawara-h/  
 創立：小田原高校(明治33年創立)と小田原城内高校(明治36年創立)が再編統合(平成16年4月)  
 課程：単位制による全日制・定時制  
 設置学科・生徒数・学級数

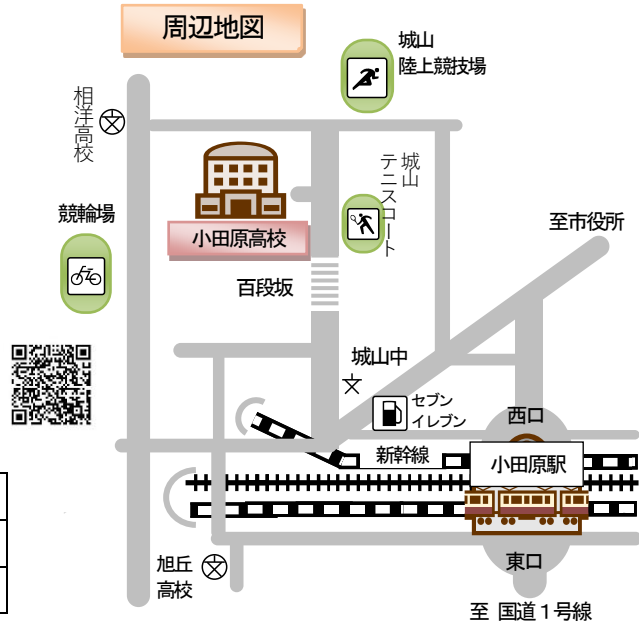
	1年	2年	3年	計
普通科	319	324	313	956
学級数	9	9	9	27

(生徒、学級数については令和8年4月現在)

## <学校案内図>

### 利用交通機関

- JR東海道線・小田急小田原線・箱根登山鉄道・伊豆箱根鉄道大雄山線「小田原駅」下車  
西口より「百段坂」を登り 徒歩15分



## ◆126年の歴史・伝統と新しい教育システム◆ 至誠無息 堅忍不拔

本校は、明治33年(1900年)に神奈川県第二中学校として創立されました。神奈川県立小田原中学校、神奈川県立小田原高等学校へと改称されながら、これまで126年の歴史と伝統を積み重ねてきました。

平成16年度の小田原城内高等学校との再編統合を契機とした単位制普通科のシステムの導入、さらに定時制課程の併設と、時代に応じて学校の姿を進化させてきましたが、長く受け継がれてきた本校の校訓である「至誠無息」「堅忍不拔」の精神は、今も変わらず脈々と息づいています。

また本校は、令和5年度に文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」の指定を受け、「イノベーションを創出する次世代のグローバル・サイエンス・リーダー」の育成を目指し、今年度は第I期4年目の取組みを推進しています。さらに、令和6年度より県教育委員会から「学力向上進学重点校」に指定され、「志高く」を旗印として、生徒の第一志望の進路実現に向け、組織的な取組みを進めています。今年度で126年目を迎える本校では、「小田高だからこそできること、小田高だからこそ取り組めること」がさらに広がり、益々充実してきています。

◇『至誠無息(しせいむそく)』とは「嘘、偽りのない誠実な心で自分を磨き続けること」、『堅忍不拔(けんじんふぼつ)』とは「いかなる困難や苦境に立ってもじっと耐え、くじけないことが大切である」という意味です。

### 年次進行型の単位制 ～次世代のリーダーを育成するカリキュラム～

◆年次進行型の単位制普通科である本校では、1年次生・2年次生は共通科目を履修し、高校生として必要な教科・科目を幅広く学習していきます。

◆3年次生は、進路目標を明確に捉えながら、それぞれの進路目標の実現に向けた教科・科目の授業を選択し、自分だけの学習計画をつくり、学んでいきます。

◆「理数探究基礎」「理数探究」「Odatech I・II」等の授業をはじめ、すべての教科・科目で、教科横断的な授業展開を目指し、探究的な学びを深めるSSHならではの充実したカリキュラムがあります。

## 令和8年度入学生 1年次教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
通年	現代の 国語	言語文化	歴史総合	公共	数学Ⅰ	数学A	物理 基礎	化学 基礎	生物 基礎	保健	体育	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	英語コミュニケー ションⅠ	論理 表現Ⅰ	情報 Ⅰ	理数 探究 基礎	L H R	Oda tech Ⅰ																	

## 新しく充実した施設・設備

本校の現在の校舎は平成19年3月に完成しました。すでに19年が経っていますがまだまだ新しく、小田高の大きな魅力の一つです。「集成館ホール」は各年次の生徒すべてを収容することができます。年次集会はもちろん、ステージもあるので、昼休みには文化部の発表会等も催される本校が誇れる施設の一つです。他にも自習室となる「スカイラウンジ」、箱根の山や相模湾も一望できる「屋上プール」等があり、これらを最大限活用した教育活動を展開しています。



集成館ホール (視聴覚室)



スカイラウンジ (自習室)



屋上プール

## 学力向上重点進学校・スーパーサイエンスハイスクール (SSH)

「学力向上進学重点校」としては、生徒には「志高く」高い進路目標を掲げることを求め、「第一志望宣言」を軸とした進路指導を展開しています。年間を通じた年次別の生徒・保護者対象の進路説明会の開催は、本校の手厚い進路指導のポイントの一つです。「SSH」としては、1年次の「理数探究基礎」、2・3年次の「理数探究」、自由選択科目「OdatechⅠ・Ⅱ」をはじめとした“探究を中核としたサイエンスプログラム”を展開しています。科学部が令和7年度全国高等学校総合文化祭の自然科学部門で「文部科学大臣賞」を受賞したことは、大きな成果です。

★令和8年度入試は国立大学に95人(内現役87人)が合格。  
「志高く」掲げた進路目標を実現する進路行事

- ◆入学から卒業までを見据えた進路指導。
- ◆「社会で活躍する先輩との職業別セミナー」「先輩大学生と語る進路学習会」など多岐にわたるキャリア教育や進路学習の機会。

充実した各種講習・集中セミナー

- ◆夏期講習・冬期講習 ◆共通テストマラソン(冬季休業中)

### 「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」

◆「OdatechⅠ・Ⅱ」では、STEAM教育(科学・技術・工学・リテラシー・数学)の具体化を目指し、専門的な実験機器の取り扱いや長期休業中の校外研修、プログラミング実習・工学実習など、先端的な学びを進めています。



先輩大学生と語る進路学習会



夏期講習

## 冠たる伝統 学校行事・部活動 —高いレベルでの文武両道

### 文化祭・体育祭・スポーツ大会・合唱コンクール

- ◆6月には文化祭を開催。1年次は折り鶴で壁画を作成します。2年次・3年次は全クラスが演劇で参加します。脚本・演出・舞台装置等は全て生徒の手作りです。
- ◆9月の体育祭(城山陸上競技場)では縦割りの団を結成します。1・2年次の応援合戦が見ものです。
- ◆7月(学校)と12月(小田原アリーナ)にはスポーツ大会が実施されます。
- ◆3月には、三の丸ホール等で合唱コンクールを開催します。3月、校舎は美しい歌声に包まれます。

### 活発な部活動

◆20の運動部、15の文化部、1つの同好会が年間を通じて活発に活動しています。令和7年度の部活動加入率は、90%以上!!

#### 令和7年度の主な実績

【全国大会】陸上競技部、弓道部、少林寺拳法部、箏曲部、弦楽部、美術部

【関東大会出場・県大会上位(上記以外の部)】ソフトテニス部、山岳部、水泳部

その他、地区大会、県大会で活躍する部多数。